

議会だより



平成22年新成人のみなさん



成人証書を受領する代表者

◇一般質問	2～3
◇第4回定例会内容	3～5
◇第3回臨時会・第4回臨時会内容	5
◇村長報告	5～6
◇委員会報告	6～7
◇行政視察・議員派遣報告	7
◇議会のうごき・編集後記	8

平成21年

第4回定例会

平成21年第4回定例会は、12月11日から16日までの6日間の会期で開かれました。本定例会では一名の議員が一般質問を行い村長の考えを質しました。また、村長からは、村政執行状況が報告されました。議案は平成21年度補正予算案7件が提出され、慎重に審議された結果全議案原案のとおり可決されました。その後15日に村長より固定資産評価審査委員に係る人事案件1件、総務教育常任委員長より陳情に係る意見書案1件が追加提案され、それぞれ同意および可決されました。

一般質問



水野谷 薫 議員

22年度予算編成について問う

水野谷 平成21年度における国内の景気、経済情勢は、米国発のリーマンショックから幾分立ち直りの部分が見ら

れるものの設備投資の減少、雇用情勢の一段の悪化と、消費の落ち込み、輸出の減少が続いています。このような中であって、民主党鳩山内閣が誕生しました。まさに、歴史的な年でありました。22年度国の当初予算については、民主党の新しい手法である事業仕分けを実施し、税金を官僚や、族議員から国民の手に取り戻すための仕組みを立てました。

本村にとっても予算編成は今まで以上に厳しいと思いま

すが、村長に次の6点について明解な答弁を求めます。

- ① 予算編成の基本的な取り組みについて。
- ② 一般会計歳入予算について。
- ③ 一般会計歳出予算について。
- ④ 特別会計歳入歳出予算について。
- ⑤ 22年度の主な重点事業について。
- ⑥ 各基金の活用状況について。



一般質問に答弁する村長

村長 平成22年度当初予算についてであります。世界的な景気後退を受けて、景気の下降局面が長期化し、そして深刻化するおそれが高まっている中での予算編成であります。国においては、政権交代を受けて、現在予算編成に際し、いろいろな議論を展開しているところであります。また、それが市町村にどう波及するの見える段階ではございません。私どもは地方6

団体で国へ地方財源確保の要求や意見を申し上げているところであります。予算編成に当たっては、国・県の情報を収集し、歳入を適切に把握し、歳出については経費節減、事務の合理化を図り、限られた財源を有効かつ効果的に事業執行できるよう編成をしてまいりたいと考えております。

予算規模については、国の動向を見据えて、今後出る国・県の予算編成指針を参考に編成していく所存であります。取り組みたい事業は、村民の安心・安全の観点から、豪雨災害の対処について検討してまいりたいと考えています。

健康づくりにあつては、検診データを電算化し、保健指導事業、住民健康管理整備事業を実施したいと考えております。

子育て支援は、幼稚園において一時預かり保育を新たに実施したいと考えております。また、若者の定住化促進を図ることから、宅地分譲の促進、企業誘致に努めたいと考えております。

農業関係は、生産コストの低減を図るという観点に立って、関係機関と連携支援していきたいと考えております。

商工関係は、中小企業経営

合理化資金融資制度を継続するとともに、新交通システム事業も、支援したいと考えております。

次に、特別会計予算についてであります。保険料、使用料等の適正化についても検討してまいれる所存であります。

基金の活用については、預金利率が低くなつたことから、預金率の活用は難しい状況にあります。そうしたものは、必要に応じて予算財源をもって対処していく所存であります。

水野谷 民主党政府が、事業仕分けで一般の住民にわかりやすいような予算編成をしている、こうした手法を取り入れる考えはどうか。それから、雇用情勢が非常に悪化しております。地域雇用推進基金を活用して、来年度の予算の中に取り入れたらと思いますが、それらについて答弁をお願いします。

村長 国で行っている、仕分けですが、今後検討してまいりたいとこのように思っております。それから雇用問題ですが、基金も活用しながら、

雇用の促進を図っていききたい、そのように思っております。

水野谷 この仕分け作業、いいことはまねして良いと思いますが、その辺のところ少し考えてみていただきたいと思っております。

それから雇用問題は、特に来春卒業の高校生ですが内定率が過去最低というようなどとなので、やはり雇用の拡大に努めていただきたいと思っております。

それから、中学3年生まで医療費無料化を拡大する考えは持っていますか。

村長 当初予算のときに答弁しておりますが、できれば3年延長して中学3年まで無料にしたいと考えております。

水野谷 予算編成については、大変厳しい経済状況が続くので、小さい自治体として、財政の効率化を進めていただき、真のサービースに努めていただきたいと思います。

合併しない中島村の村づくりは？

水野谷 合併しなかった小規模自治体として、これから自立の道を進むわけですが、

現在でも自主財源が少なく、多くは地方交付税や各種補助金に依存している財政状況にあって、これからの中島村の未来をどのように考え、どのように実行していくのか、村長に次の4点について質問いたします。

- ① 地域活性化対策について。
- ② 今後の財政運営について。
- ③ 地方分権改革について。
- ④ 村長の将来の村づくりはどのように考えているのか、村長に明確な答弁を求めます。



一般質問をする水野谷議員

村長 初めに、地域活性化対策についてであります。

本村は、先人たちのご努力により、早くから農業基盤の整備、さらには生活基盤の整備に取り組みその結果、県下トップクラスの農業生産を担うに至りました。農業が、本

村の基盤であることは、だれでもが認めるところであります。私は、こういった農業の振興、コストの削減、次代に継承できる産業という視点を持って支援するものであります。

企業誘致については、この経済情勢の中では難しい状況であります。引き続き努力していく所存であります。

本村の財政運営は、健全財政の堅持を第一に考え、身の丈に合った財政運営を行ってまいります。

地方分権改革については、国の意思が大きくかわってくる問題でもあります。新権が、地方分権のあり方を財源を含め検討されることが大切であると考えています。

最後に、将来の村づくりについてであります。人口の減少と高齢化率の上昇が同時に進行すると想定した長期総合計画が求められます。この人口推計に基づいて村の政策全体を見直し、今、何を試みるべきかという視点に立つて考える時にあると思えます。その一つに、事務の共同化の推進があります。共同化により行政コストの低減を図るため各町村や関係機関との間で検討していく所存であります。

水野谷 村長として、今、振り返ってみまして、どうして自立の道を歩むという形になったのか、その辺の理由をひとつ答弁していただきます。

村長 これは合併という重要な問題を、余りにも急に提出しなければならなかったことが結論だと思っております。

水野谷 財源が非常に厳しい状況でこれから乗り切っていくかなければならないわけですが、財政運営について村長はどのように考えていますか。

村長 行財政改革により経費の節減、財源の効率化という方向で乗り切ると、そのように考えております。

水野谷 大変これは厳しい状況にあるわけですけれども、財政の歳入歳出のバランスを考えて、住民の声も十二分に反映し住んでよかった村、安心・安全な村づくりに努力していただくことを希望いたします。私の質問を終わります。

審議内容

21年度補正予算

12月定例議会に村長から提出された議案内容は7議案すべて21年度補正予算案でした。各会計に共通した補正は、第4回臨時議会において議決した議員報酬と給与の減額補正が主なものでした。

◇平成21年度一般会計補正予算(第7号)



耐震補強・大規模改造工事を行う吉子川小

既定予算額に1億530万円を追加し、総額22億6428万円と定められました。

歳入の主なものとは国庫補助金に9784万円、県補助金に819万円、村債に1050万円が追加され、財政調整基金の繰り入れは4340万円減額されました。

歳出の主なものとは、全国瞬時警報システム設備整備費に902万円、各学校の太陽光発電システム設置工費に6300万円、吉子川小体育館耐震補強大規模改造工費に7200万円が追加されました。審議結果 原案可決

(主な質疑)

問 吉子川小学校体育館耐震補強工費が滑津小学校と比較して増額となっているのはなぜか。

答 床改修工事、この部分で増額となります。

問 この工事はどのような発注となるのか。

答 一般競争入札を予定しております。

問 太陽光発電システム設置工事費、各学校同額の予算が計上されているがどんな理由か。

答 補助対象限度額が20kWまでとなっており、ご理解いただきたい。

問 各学校月々4万円位の節減ができ、滑津小が48%、吉子川小が52%、中学校が32%位節約できると見込んでおります。

問 職員共済組合負担金が総額で382万円増額されているがどんな理由か。

答 9月定例議会以降に負担率の改正があり、4月に遡って負担することになり、今回増額補正をお願いするものであります。

問 道路改良舗装工費110万円が増額となっているがどんな理由か。

答 今回実施設計をしたところ道路幅員が狭い箇所があったこと、それから設計単価が上昇したため今回増額補正となりましたのでご理解願います。

問 予算内容をキチットして、今後このようなことの無いように願います。

還されました。

歳入の主なものとは、保険給付費に1750万円が追加されました。審議結果 原案可決

◇平成21年度簡易水道特別会計補正予算(第2号)

既定予算額に33万円を追加し、総額1億4253万円と定められました。

歳入の主なものとは、前年度繰越額が確定したことから繰越金に753万円を増額し、一般会計からの繰入金を764万円減額しました。

歳入の主なものとは消費税納付金に47万円が増額されました。審議結果 原案可決

◇平成21年度老人保健特別会計補正予算(第2号)

既定予算額に33万円を追加し、総額499万円と定められました。

歳入の主なものとは、繰越金に33万円が追加されました。歳出の主なものとは、過年度分清算のため、一般会計繰出金に33万円が追加されました。審議結果 原案可決

◇平成21年度農業集落排水処理事業特別会計補正予算(第3号)

既定予算額から26万円が減額され、総額2億4917万円と定められました。

歳入の主なものとは、繰越金に1003万円が追加され、一般会計からの繰り入れ金1029万円が減額されました。

歳出の主なものとは、職員給与と改定により24万円が減額されました。審議結果 原案可決

◇平成21年度介護保険特別会計補正予算(第3号)

既定予算額に841万円を追加し、総額2億3964万円と定められました。

歳入の主なものとは、前年度繰越金798万円、支払い基金交付金57万円が増額されました。

歳出の主なものとは、施設介護サービス給付金に950万円が増額されました。審議結果 原案可決

◇平成21年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

既定予算額に26万円を追加し、総額3343万円と定められました。

歳入の主なものとは、一般会計からの繰入金26万円が増額されました。

歳出の主なものとは、広域連合保険料等納付金に26万円が増額されました。審議結果 原案可決

追加議案

12月15日村長より中島村固定資産評価審査委員会委員に係る人事案1件が追加提案され、審議の結果原案のとおり同意されました。

◇中島村固定資産評価審査委員会委員の選任について

固定資産評価審査委員1名が平成21年12月20日で任期満了となることからその後任の委員に稲田喜男氏を選任する同意案を地方税法第423条第3項の規定により提案されました。審議の結果、全会一致で同意されました。

◎住所 中島村大字二子塚字

西内59番地

氏名 稲田 喜男



請願・陳情

12月定例議会に提出された陳情は、つぎのとおり処理されました。

◇陳情第6号 多重債務者対策の推進を求める意見書提出についての陳情

・陳情者 白河地区労働福祉協議会会長 深谷 拓男

・意見書を次の機関等へ送付
衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・多重債務者対策本部長・金融担当大臣・消費者政策担当大臣・厚生労働大臣・総務大臣・国家公安委員会委員長

第3回臨時議会

平成21年第3回臨時会は、11月5日に1日間の会期で開催されました。この臨時議会は、新型インフルエンザ予防ワクチン接種費用助成等に関する補正予算の審議で、早急

に予算化する必要があり臨時議会の開催となりました。審議の結果原案のとおり可決されました。

新型インフルエンザ対策費補正される

◇平成21年度一般会計補正予算(第6号)

新型インフルエンザ・ワクチン投与にかかる優先接種者に対する助成費用として770万円増額補正されました。
審議結果 原案可決

◆専決処分の承認



県大会で演奏する吉子川小児童

◇承認第3号 平成21年度一般会計補正予算(第5号)

吉子川小学校マーチングバ

ンドの県大会出場経費として村長が専決処分した34万円の補正予算を審議されました。
審議結果 原案承認

第4回臨時議会

平成21年第4回臨時会は、県人事委員会より給与・手当を減額する勧告があり、関係条例を改正する必要があるため臨時議会の開催となりました。議案は4議案提案され、全議案とも原案のとおり可決されました。

期末手当で0.15ヶ月分削減!

◇議会議員の議員報酬・期末手当及び費用弁償に関する条例

県人事委員会勧告に基づき議会議員の期末手当の支給率を6月支給分については0.15ヶ月分、12月支給分については0.13ヶ月分減額する改正
審議結果 原案可決

◇村長等の給与及び旅費に関する条例

議会議員の期末手当と同様6月支給分については0.15ヶ月分、12月支給分については0.13ヶ月分減額する改正
審議結果 原案可決

◇教育長の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例

議会議員の期末手当と同様6月支給分については0.15ヶ月分、12月支給分については0.13ヶ月分減額する改正
審議結果 原案可決

◇職員の給与に関する条例

職員の期末手当の支給率を、6月支給分については0.15ヶ月分、12月支給分については0.13ヶ月分減額し、さらに勤勉手当を6月・12月分とも0.05ヶ月分減額する。また、持ち家に対する住居手当を廃止する改正。
審議結果 原案可決

村報 政告

12月11日、12月定例議会初日冒頭に村長より村政の執行状況についてつぎのとおり報告されました。

行政報告

- ・村民マラソン大会
10月25日に341名の参加を得22部門で競技されました。
5部門で大会新記録が出るなどすばらしい大会となりました。
- ・村民文化祭
10月31日から11月2日まで開催し1300余点が出展され、多くの村民が訪れました。
- ・健康福祉祭
11月3日に福祉センター及び保健センターで開催され、

各種の健康チェックや虫歯の無い児童生徒の表彰等を行い多くの来場者がありました。

・ふくしま駅伝

11月15日に開催されたふくしま駅伝は、総合順位35位、村の部6位と昨年より順位をあげました。



ふくしま駅伝で力走する中島村代表選手

・マーチングバンド

吉子川小のマーチングバンドは、10月31日福島県大会で優秀な成績を残し東北大会に出場しました。

工事関係

・光ファイバー敷設事業

11月20日工事が竣工し12月1日より供用を開始しました。

・滑津小学校体育館耐震補強大規模改修工事
11月9日竣工しました。

・吉子川小学校体育館耐震補強大規模改修実施計画業務委託
11月25日完了しました。

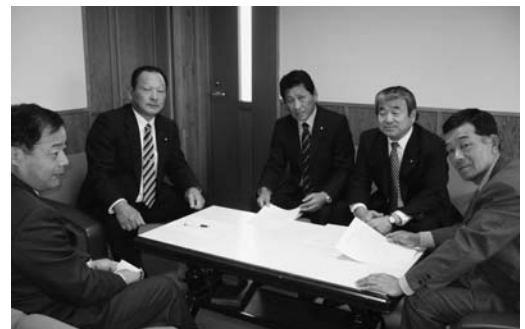
・中学校防球ネット設置工事契約を締結し、12月21日完成に向け工事中であります。

委員会報告

議会運営委員会

- 委員長 藤田利春
- 委員 円谷哲雄
- 〃 鈴木新平
- 〃 吉田茂美

9月定例議会以降の議会運営委員会の活動は、第3回臨時議会、第4回臨時議会、第4回定例議会の運営について協議しました。



運営を協議する議会運営委員会

◇11月5日委員会

・提出議案について
総務課長より、第3回臨時議会に提出案件について説明を受け、今臨時議会において審議することになりました。
・会期及び日程について
会期は一日で審議することになりました。

◇11月27日委員会

・提出議案について
総務課長より、第4回臨時議会に提出案件について説明を受け、今臨時議会において審議することになりました。
・会期及び日程について
会期は一日で審議することになりました。

◇12月9日委員会

・提出議案について
総務課長より12月定例議会に提出予定案件の概要について説明を受け、今議会で審議することとしました。
・一般質問について
1名の議員より質問があり、質問を許可することに決しました。
・請願陳情について
今定例会には、1件の陳情有りました。改正貸金業法の早期完全施行を求める陳情であり、平成19年6月の議会で国に提出した意見書の早期施行を求める案件で総務教育常任委員会に付託することに決しました。

・会期及び審議日程について
会期は、12月11日より16日までの6日間とし一般質問は第4日目の12月14日に行うことにしました。

総務教育常任委員会

- 委員長 加藤幸一
- 委員 水野谷博
- 〃 藤田利春
- 〃 折笠三吉

本委員会は12月11日に1件の陳情案件の付託を受けて同日委員会を開催して陳情内容について審査しました。



陳情6号を審査する総務教育委員会

◇12月11日委員会

・陳情第6号 多重債務者対策の推進を求める意見書提出の陳情
改正貸金業法の完全施行の先延ばしや貸金業者に対する規制が緩和されたら、再び自殺者や自己破産者、多重債務者の増加を招く恐れがある。多重債務者対策の推進を求める本意見書は、願意妥当との意見の一致を見ました。

議会広報編集委員会

委員長 水野谷博
 委員 加藤幸一
 〃 鈴木新平
 〃 円谷哲雄

本委員会は、11月9日郡山市の「ビックパレットふくしま」で開催された町村議会広報委員研修会に委員全員が参加して参りました。

また、1月22日に委員会を開催し、議会だより2月号の編集業務を行いました。

行政視察報告

総務教育常任委員会

委員長 加藤幸一

中島村議会議員は、去る11月16日から19日まで韓国農業協同組合が運営するハナロ、グループ・マートを視察しました。

韓国における農産物総合流通センターは世界唯一の卸売・直販の総合システムで運営され生産者と消費者を保護する

直販事業として生産者の受け取り金額は高く、そして消費者にはよりやすい値段で、農産物を供給し、安定した需要と供給をはかり、消費地の物価安定に寄与しているとのことでありました。

信頼される農協、ひとつとなる農協を運営指標に掲げ、トレーサビリティの開示やポジティブリストの全品目検査といった、食の安全、自然、消費者、地域社会と共存できる組織として、消費者の信頼を獲得しているとのことであります。



ハナロ、マートで説明を受ける議会議員

更に、国内だけの消費ばかりではなく、高い品質と安全性を武器に海外にも輸出戦略を掛けており、日本もそのター

ゲットになつていくとのことでありました。質問のなかで、農業後継者の不足や海外からの農産物輸入が韓国農業の問題点であり、日本と共通の課題があることも理解できました。



ハナロ、マートで店内を視察する議会議員

店内視察では農産物や加工食品が豊富に陳列され、日本の産直そのものを見学しているような錯覚を覚えたのが印象的でありました。

今回の研修では、韓国も日本同様、国際的にはWTO、FTA、EPAなどの問題があり、国内的には後継者や販売価格の低迷など共通した問題の中で韓国農業協同組合が生産者と消費者からともに

議員派遣報告

町村議会広報研修会

議会広報編集委員会

委員長 水野谷博

平成21年度、町村議会広報委員の研修会が、去る11月9日「ビックパレットふくしま」で開催され、本村議会広報委員が全員参加いたしました。

研修は、「議会広報、ここがポイント。ありのままに、分かりやすく、住民とともに」と題し、広報コンサルタントの深沢徹先生の講義を受けました。

先生は山梨県身延町の議会議員として長く議会広報作り

支持を得られるための施策としてハナロ、グループ・マートが重要役割を担っていることが理解できました。今回の視察は、福島空港利用促進を兼ねた議員研修でありましたが、大変有意義な研修会となりました。



真剣に研修を受ける広報委員

に携わりその経験を活かしてコンサルタントになった方でした。

・議会広報は、住民のためにあり、読者の目線で書かなければならない。

・議会議員は住民に議会の内容を知らせなければならぬ。

・情報を流すだけでは広報活動の半分。住民を登場させることにより身近な議会広報となる。

など、より具体的な広報作りの研修でした。

今回の研修の成果を少しでも、今後の議会広報の編集に活かして、村民に親しまれる、より良い議会広報にしていきたいと思います。

消防団出初め式

1月10日中島村消防団の平成22年出初め式が勤労者体育館で行われました。

式は、消防団長（小室正光）訓示のあと通常点検が行われ村長、折笠議長を始め議会議員全員、来賓が団長に続き通常点検を行いました。その後村長が年頭の挨拶を行い来賓者から祝辞をうけました。

折笠議長は議会を代表して生業のかたわら消防活動に尽力されていることに感謝し、今後も村民が安心して生活できるように活動されることをお願いする祝辞を述べました。



平成22年中島村新年祝賀会

1月10日生涯学習センター輝ら里において、平成22年中島村新年祝賀会が開催されました。

祝賀会には、村議会議員をはじめ約90名が参加されました。

村長年頭挨拶にひき続き議会を代表して折笠議長が「村民が幸せ多い年となるよう」祝辞を述べました。

また席上、本村に多額の寄付をされた方々5名（株式会社 社高商様・仲畑商事有限公司 様・富士工業株式会社様・梅津充子様・陣野平八郎様）に感謝状贈呈がありました。



新年祝賀会で祝辞を述べる折笠議長

月日	事項
11月5日	・議会運営委員会
〃	・21年第3回臨時議会
〃	・議会広報編集委員会
7日	・あやめ発表会（吉子川小）
8日	・白河市体育協会創立50周年記念式典
9日	・町村議会広報編集委員研修会
〃	・ふくしま駅伝選手壮行会
11～12日	・第53回全国町村議会議長会全国大会（東京）
15日	・第21回ふくしま駅伝競走大会
16～19日	・21年度議会議員視察研修会（韓国）
20日	・町村議会事務局職員研修会（福島）
22日	・21年度中島村芸能発表大会
〃	・中島村消防団新幹部歓迎会
27日	・議会運営委員会
〃	・21年第4回臨時会
〃	・西白河地方町村議会議長会（白河）
28日	・中島幼稚園発表会
12月9日	・議会運営委員会
11～16日	・21年第4回定例議会
24日	・白河地方広域市町村圏整備組合議会定例会（白河）
25日	・西白河地方衛生処理一部事務組合議会
1月6日	・知事年始懇談会（福島）
9日	・中島村成人式
10日	・中島村消防団出初式
〃	・中島村安全祈願祭
〃	・中島村新年祝賀会
25日	・棚倉矢吹線整備促進期成同盟要望活動（福島）

議会のしりとり

編集後記

本格的なブロードバンド時代をむかえ、本村にも光ファイバーケーブルが敷設され12月より利用できるようになりました。従来の一般電話回線やISDを利用したインターネット接続と比較すると高速大容量の通信が可能となり、個人利用者にも企業にも待ち望まれていたのではないのでしょうか。接続の契約件数を見ますと当初の予想を上回り上々のスタートを切ったようであります。

無限の可能性を持ったインターネットであり、話題も無限になりそうですが、村のホームページも更に充実し、村民の生活向上に寄与することが、求められます。またナンバーを利用した電話料の節約なども検討の余地があるのではないのでしょうか。本村の重要なインフラ整備の一環として実施された光ケーブル敷設事業をブロードバンド元年と位置づけ普及の拡大と利用の充実が望まれます。

広報委員 加藤